

2025年(令和7年)

10/25

No. 1331

東京都トラック時報

昭和43年8月16日 第三種郵便物認可 毎月2回(10・25日)発行 1部 90円(送料別)

機関紙

一般社団法人
発行所 東京都トラック協会

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-1-8
(東京都トラック総合会館)

☎(03)3359-6251(代表)

☎(03)3359-4134(総務部広報・情報G)

《ホームページアドレス》<https://www.totokyo.or.jp/>



多摩広域防災倉庫から東海汽船芝浦営業所まで緊急輸送

台風22・23号被害で 島しょ部へ救援物資輸送

東ト協

東京都トラック協会(水野功 会長)は10月16日、東京都から八丈町向けの救援物資(飲料水・台風22・23号による被害に係る生活物資など)を輸送した。輸送された救援物資はコンテナに積載後、貨物船で八丈島などに届けられた。

ライフラインの役割果たす

台風22・23号により甚大な被害を受けた伊豆諸島・八丈島・八丈島八丈町への救援物資輸送では、東ト協と東京都との災害時における広域輸送基地からの物資輸送等に関する協定に基づき、多摩支部会員事業者の10台トラック3台が出動。本部職員1人、支部職員1人、運転者3人、フォークリフト作業員1人の人員を動員した。

当日は、都の要請を受けた東ト協の人員が作業手順を立案し、防災倉庫内にパレット積みされた救援物資を、配備されているフォークリフトやハンドリフトを使い、トラックに積載した。救援物資は、ペットボトル飲料水・カップ麺・栄養補助食品ゼリー飲料などの食料品や、割り箸・スプーン・トイレ用ペーパー・ウエットティッシュ・ボディシートなどの生活用品・ゴミ袋・土のう袋・軍手など復旧用品を合わせて36パレット分に上った。

その後、東ト協輸送隊の緊急物資輸送を示す大型シールを貼付したトラックが、立川市から港区まで走行した。なお、都内での大規模災害の発生時には道路で通行規制が想定されることから、この場合の輸送時には警察の要請に各機関が迅速に対応し、被災地への救援物資輸送を円滑に行うことで、トラック輸送はライフラインとしての役割を果たすこととなる。

多摩支部から10台トラック3台出動

高市新内閣が発足

国交大臣に金子氏



金子氏

自由民主党新総裁の高市早苗衆議院議員(奈良

県2区、64歳)が、10月21日召集の臨時国会で第104代内閣総理大臣に指名され、高市内閣が発足した。これに伴い、新内閣の国土交通大臣には、自民党の金子恭之衆議院議員(熊本県4区、64歳)が就任した。

なお、今回の救援物資輸送では、東ト協以外の協定団体により青ヶ島向けの救援物資輸送も行われている。被災地では復旧作業が進められる中、島民の生活を守るため、各方面で救援活動が継続されており、トラック輸送はそれらを支えるため、日々活躍している。

輪島市小・中学校支援プロジェクト

東ト協青年部(佐藤文平本部長)は、令和7年度事業の社会貢献活動の一環として、6年1月の能登半島地震で被災した石川県輪島市の小・中学校12校に対して、支援活動を行うプロジェクトを新たに展開している。その取り組みの第1弾として10月9日、輪島市6小学校(仮称)で寄贈式を行い、佐藤本部長が輪島市立河井小学校および大屋小学校の富水聡校長(写真④)、同市教育委員会教育総務課の平田勝課長(写真⑤)に、デジタルカメラ3台を寄贈した。寄贈品は、小学校からの要望



東ト協 青年部

毎年、備品などを寄贈へ

小学校からの要望

に、デジタルカメラ3台を寄贈した。寄贈品は、小学校からの要望のほか、懇談では被災当時の状況などの話を伺った。

現在、同小学校は市内6つの小学校が集まり、河井小学校グラウンド内の仮設校舎で約400人の児童が合同で学校生活を送っている。寄贈式後、佐藤本部長をはじめ青年部幹部らは、仮設校舎内の授業の様子を見学。富水校長、平田課長から輪島市の学校運営の現状や今後の方針について説明を受けた。なお、今回の小学校訪問には、佐藤本部長をはじめ、各副本部長、幹事の状況などの話を伺った。

青年部では、輪島市内に合せて12校の小・中学校があることから、来年度以降も毎年2校に対して支援活動が続けていく予定で、6年にわたるプロジェクトとなる。被災地を訪問し、何ができるか検討を重ね、地域の未来を担う子どもたちへの支援を決めたもの。

東ト協 青年部

の状況などの話を伺った。



二次元コード

トラックドライバー 東ト協 トイレ事情調査に協力を

東ト協はこのほど、東ト協ホームページ(HP)で「トラックドライバーのトイレ事情アンケート調査」(今号にチラシを同封)を実施している。会員事業者者に所属するドライバーを対象に、帰庫後の乗務後点呼時など、回答するよう調査への協力を呼びかけている。

調査は、ドライバーがスマートフォンやパソコンなどからアンケートフォームにアクセスして回答する形式で、①性別(任意)、②年齢(年代)、③ドライバー経験、④営業所の所在地、⑤運転するトラックの種類、⑥業務形態、⑦業務中のトイレ事情について、⑧業務中・運行中に利用するトイレの設置場所について、⑨直近の3か月間で業務中・運行中(待機時を含む)に、トイレ利用で困ったことがあるなどについて回答する。回答の所要時間は3〜5分程度。

回答は、アンケートフォームから。下記二次元コードまたは、東ト協HPにもリンク先を掲載。回答期日は、第1次締め切り11月30日、第2次締め切り12月26日。トラック運送業界では深刻な人手不足が続く中、女性ドライバーの活躍が注目を集めており、女性部(原玲子本部長)に基づいて青年部チャリティゴルフでの募金を活用した。

東ト協ではその一環として、男女を問わず、トラックドライバーとして勤務する上で、必要不可欠となる乗務中のトイレ問題について実態を把握し、今後の改善策などを検討していくこととしている。

調査に関する問い合わせは、東ト協業務部教育研修・輸送G(☎03・359・4137)

紙面あんない

東運支局・東ト協がアンケート調査実施 2
東ト協 適正化事業指導委員会を開催 4
関運局自動車運転者局長表彰式 6
国土交通大臣表彰15人が受賞 7
全ト協、第30回事業者大会を開催 7

古紙パルプ含有率80%再生紙を使用 R20

国交省 利用拡大策を講じる

国土交通省は10月15日、令和7年度第2回「運行管理高度化ワーキンググループ(WG)」を開催。①同一事業者内遠隔点呼および業務後自動点呼の実態調査、②運行管理業務の一元化における運行管理者の選任数の合理化、③事業者を跨いだ運行管理業務の一元化のニーズ調査について議論した。

遠隔点呼や自動点呼に関する調査結果によると、遠隔点呼は保有車両台数の多い事業者での活用が多く、業務後自動点呼は保有車両台数による傾向がみられなかった。また、遠隔点呼と業務後自動点呼のいずれも、「運行管理者の業務効率化に寄与している」との回答が多い。

7年度第2回 運行管理高度化WG

今後の普及啓発については、導入コストへの対応として、4年度から実施している導入補助事業の継続、7年度に制度化された事業者間遠隔点呼、業務前自動点呼を含め、制度の周知・理解向上などを目的としたパンフレットを新たに作成する。また、導入事業者の

優良活用事例についてヒアリングを行い、継続的に情報収集し、得られた知見を講演・セミナーなどを通じて広く周知する。

さらに、事業者を跨いだ運行管理業務の実施に係るニーズ調査によると、事業者規模が大きくなるほど、運行管理者の不足感が高まる傾向がみられた。乗務員などの管理・指導に関する業務の他事業者への委託ニーズについては、特に「乗務員の健康管理」「運転者の適性診断に対する受診指導」「乗務員に対する指導監督」で高い結果となった。

国交省は今後、調査結

年末年始の輸送安全総点検

国交省 7年度

国交省は、令和7年度「年末年始の輸送等に関する安全総点検」を実施する。実施期間は12月10日から令和8年1月10日まで。

例年、年末年始は人流・物流が集中することから、自動車運送事業者が自主点検を通じて輸送の安全性を高め、事業者の安全意識の高揚を図ることを目的としたもの。

今年度は、依然として多く発生している大型トラックの車輪脱落事故、いまだ根絶に至っていない飲酒運転事故および健康起因事故の発生を踏まえ、各種安全対策を

送関係の重点点検事項5項目は、次の通り。

▽健康管理体制の状況

▽運転者に過労運転を行わせないための安全対策

12月10日～8年1月10日

実態把握へ協力呼びかけ

東京運輸支局と東京都トラック協会が構成する「トラック輸送における取引環境・労働時間改善改正貨物自動車運送事業法」は、改正貨物自動車運送事業法の施行に伴う取引実態を把握するため、アンケート調査(今

改正貨物自動車運送事業法

善東京都 地方協議

東運支局・東ト協 アンケート調査

法律及び貨物自動車運送事業法の一部を改正する法律」は、第213回国会で成立し、令和6年5月15日に公布され、本年



二次元コード

策の実施状況

▽運転者に飲酒運転や薬物運転などを行わせないための安全対策の実施状況

▽車両の日常点検整備、定期点検整備などの実施状況(特に大型車の車輪脱落事故防止対策お



11月10～16日

厚労省 アルコール関連問題啓発週間

厚生労働省は、11月10日から16日までを「アルコール関連問題啓発週間」として、国民の間に広くアルコール関連問題について関心と理解を深めるよう呼びかけている。

問題について考える契機・気付きとなるような呼びかけ、②さまざまな主体との啓発事業の連携・協力、③啓発週間の実施を契機とした意識の定着化――を掲げ、広報啓発事業の実施やさまざまな主体による啓発事業を推進する。

また、各省庁の連名による啓発ポスター(写真)を作成し、普及啓発活動を展開。厚労省は、アルコールとの適切な付き合い方や、不適切な飲酒の防止などに努めるよう求めている。

正しい運転・明らかな輸送運動

全ト協 第65回

11月16日～8年1月10日

全日本トラック協会は、第65回「正しい運転・明らかな輸送運動」(11月16日～令和8年1月10日)を実施する。

交差点における事故防止の徹底、過労運転防止の徹底、確実な点呼の実施、携帯・スマートフォンの使用禁止の徹底、健康診断の受診の徹底、荷役作業時の安全確保の徹底、目標達成への取り組み」を活用し、交通事故の実態に即した運転者への指導・教育を実施し、交差点および追突事故防止の徹底に努める。

首都高羽田線更新下り線 10月29日運用開始

首都高速道路1号羽田線の更新下り線(東下り線)が、10月29日午前1時から、運用を開始する。現在の暫定下り線(更新上り線)から切り替え工事により、走行ルートが変更となる。

メリット 1

高めの金利設定 ※当金庫内比較

メリット 2

固定金利の 半年複利

メリット 3

選べる期間 1年・2年・3年

定期預金

個人のお客さま向けの

マイハーベスト

■お問合せ・資料のご請求は

テレホンバンキングセンター(平日9:00～17:00、銀行休業日を除く)

0120-299-233

■詳しくはホームページで

商工中金 マイハーベスト

検索



人を思う。未来を思う。

商工中金

本店営業部 神田支店
〒104-0028 中央区八重洲2-10-17
TEL: 03(3246)9080

副都心営業部(新宿支店・渋谷支店)
〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-11-3
TEL: 03(3340)1551

東京支店
〒105-0012 港区芝大門2-12-18
TEL: 03(3437)1231

池袋支店
〒171-0022 豊島区南池袋1-21-10
TEL: 03(3988)6311

押上支店
〒130-0002 墨田区業平3-10-8
TEL: 03(3624)1161

上野支店
〒110-0005 台東区上野1-10-12
TEL: 03(3834)0111

深川支店
〒135-0042 江東区木場5-11-17
TEL: 03(3642)7131

大森支店
〒143-0016 大田区大森北1-1-10
TEL: 03(3763)1251

八王子支店
〒192-0081 八王子市横山町2-5
TEL: 042(646)3131

全ト協 11月は「CO₂排出量把握促進月間」

全日本トラック協会は、11月を「トラック運送業界のCO₂排出量把握促進月間」と定め、同月の「エコドライブ推進月間」と連携し、運送事業者におけるCO₂排出量の把握、削減促進キャンペーンを実施する。写真には、日本企業が求めている、2050年までに



排出量の把握、削減促進キャンペーンを実施する。写真には、日本企業が求めている、2050年までに

排出量の把握を呼びかけへ

このため、全ト協では「トラック運送業界の環境ビジョン2030」の「サブ目標3」において、全ト協と各都道府県トラック協会が共通で取り組む「行動月間」の一環として、今年度から11月を「トラック運送業界のCO₂排出量把握促進月間」と定め、キャンペーンを実施する。

全ト協では、会員事業

オンライン研修を実施

2月15日午後

度新たに整備管理者とし

7年度整備管理者(選任後)研修

整備管理者(選任後)研修

8年2月15日まで



二次元コード

極的に取り組むよう呼びかけている。

事務局(5050・1

2026年度予算の概算要求が8月末に決定し、財務省との折衝が始まっている。国土交通省の物流関係予算要求は総額179億円で、前年度比48%増に相当するという。「物流革新に向けた政策パッケージ」の柱に沿って、物流効率化、商慣行の見直し、荷主・消費者の行動変容のそれぞれで大幅な増額要求を行った。来年度4月の改正物流法の全面施行とともに、物流の改革が荷主にも物流企業にも求められている。

点描 運輸

物流予算は大幅な増額要求

今年3月に開催された「我が国の物流の革新に関する関係閣僚会議」で、2030年度までを「物流革新の集中改革期間」と設定した。何も対策を講じなければ、輸送力が必要に對して34%不足する30年度までに、物流全体の適正化や生産性向上を実現するため、物流を改革しようとするもの。こうした背景もあって、来年度予算で物流分野の大幅要求に至った。

物流革新へ企業に投資を促す
必要なのは業界のボトムアップ

では、来年度4月の改正物流法の全面施行を見据え、荷主・物流事業者に対する規制の執行体制の整備、トラック適正化二法に規定された「適正原価」設定に向けた実態調査の実施、多重取引構造の是正に資する事業者間の連携実現に向けた環境整備、さらに、トラック・物流Gメンが悪質な荷主・元請事業者への是正指導に向けた調査など、調査を主体とした取り組みが中心となっている。荷主・消費者の行動変容では、物流コストに応じた運賃・商品価格の設定(メニュープライシング)や物量の平準化施策など、ソフト面での取り組みが多い。

都感染症対策呼びかけ

ンフルエンザ等対策行

応力向上プロジェクト(写真)ならびに職場の感染症対策を支援する教材を全面リニューアルした。同プロジェクトは、企業の感染症対策を支援することを目的に、東京都と東京都医師会が連携して、事業者が実践すべき感染症対策の取り組みを支援する教材や動画の提供を通じて、職場での感染症対策を推進するもの。リニューアルでは、新たにフリーダウンロードコンテンツを追加し、「感染症対策チェックシート」「感染症とその対策の基礎知識」「感染症BCP作成ガイド」など、一部の教材は申し込み不要でダウンロードが可能とした。

また、さらに対策を進めたい人向けの「知識定着コース」「BCP作成コース」(各申し込み制)に、新型コロナウイルス感染症対策を呼びかけている。

HP全面リニューアル

東京商工会議所は10月1日、東商ホームページ(HP)で公開している「職場で始める! 感染症対策プロジェクト」をリニューアルした。リニューアルでは、新たにフリーダウンロードコンテンツを追加し、「感染症対策チェックシート」「感染症とその対策の基礎知識」「感染症BCP作成ガイド」など、一部の教材は申し込み不要でダウンロードが可能とした。

また、さらに対策を進めたい人向けの「知識定着コース」「BCP作成コース」(各申し込み制)に、新型コロナウイルス感染症対策を呼びかけている。

また、さらに対策を進めたい人向けの「知識定着コース」「BCP作成コース」(各申し込み制)に、新型コロナウイルス感染症対策を呼びかけている。

また、さらに対策を進めたい人向けの「知識定着コース」「BCP作成コース」(各申し込み制)に、新型コロナウイルス感染症対策を呼びかけている。

矢崎の デジタコ・ドラレコ
今お使いのバックアイカメラの 映像を録画できます!
詳しくは、今すぐお電話を!
矢崎エナジーシステム 特約販売店
世田谷サービス株式会社
本社 03-5727-1600 (担当:青木)
高島平 03-6906-5960 (担当:磯田)
ホームページ http://www.setagaya-yss.co.jp
E-mail: postmaster@setagaya-yss.co.jp

1都7県 関東ブロック適正化指導員研修会

東京都貨物自動車運送適正化事業実施機関(東京都トラック協会)をはじめとする1都7県適正化事業実施機関は10月17日、さいたま市のTHE MARK GRAND HOTELで、令和7年度関東ブロック適正化事業指導員研修会(担当・埼玉県)を開催し、各都県の適正化指導員が参加。東ト



また、国土交通省物流・自動車局貨物流通事業課トラック事業適正化対策室の佐藤和義室長、全日本トラック協会適正化事業部の高木寿明部長

物流革新対応へレベルアップを図る

協から5人が参加した。開催に当たり、埼玉県トラック協会の遠藤長俊会長があいさつし、「本年4月に物流改正法が施行、6月にはトラック適正化二法が成立・公布され、物流業界のさまざまな問題解決になるものと期待されている。各都県の適正化指導員の皆様には、日々の巡回指導を通じて

物流事業者の法令遵守と輸送秩序の確立にご尽力いただいている。さらにはGメン調査員の任務が新たに加わるなど、今後の物流業界変革への重要な業務を担っている」と期待の言葉を述べた。

その後、分科会討論として参加者が3つのグループに分かれて研修を行い、全体会議では、国交省への質疑・要望、全ト協への質疑・要望が行われ、それぞれ意見を交換した。



東ト協 適正化事業指導委員会

適正化事業指導委員会(菊池正浩委員長)は10月20日、東ト協総合会館で令和7年度第1回委員会を開催し、6年度の東京都適正化事業実施機関の事業実施状況、貨物自動車運送事業安全性評価事業(Gマーク)の認定状況について了承した。

また、7年度(7年4月～9月まで)の事業実施結果として、巡回件数は586件(前年同期比16件減)、総指導件数は1563件(同24件減)。通常巡回指導項目のワースト5(指摘率)は、①特

D・E事業所減少傾向に

Gメン調査員の活動報告

定の運転者に対する特別な指導の未実施(34・5%)、②定期点検未実施(28・2%)、③特定の運転者に対する適性診断の未実施(24・4%)、④健康診断未受診(24・0%)、⑤整備管理者研修未受診(18・9%)となっている。今年度の事業実施計画では引き続き、総合評価D・E事業所に対する巡回指導を重点化しており、前年同期比でD・E事業所の全体に占める割合が昨年度に比べて減少。一方で、A事業所の割合が減少しているが、巡回指導は毎年度同一事業者を対象としていないため、年度での増減は参考程度としているが、D・E事業所は重点取り組み後、減少傾向にあるとした。

東ト協「普通救命講習」開催



東ト協は10月23・24日の2日間(各日午前・午後の2回)、東ト協総合会館7階大会議室で、「普通救命講習」を開催し、会員事業者の従業員などが参加。講習では、東京防災救急協会の専門講師が、交通事故や労働災害、大規模災害時の負

傷者などの救急救命法の重要性について解説するとともに、心肺蘇生や自動体外式除細動器(AED)の使用方法などについて説明した。受講者には、「救命技能認定証」(有効期間3年)が後日交付される。

フェスタ募金 石川県に寄附



東ト協フェスタ実行プロジェクト(森本勝也リーダー)は、フェスタ2025会場に能登半島地震・豪雨被災者支援の募金箱を設置。来場者から集まった募金を10月22日、義援金として石川県に寄附した。同日、山崎正専務理事が千代田区の石川県東京事務所を訪問し、堀田啓所長(写真⑤)に目録を手渡した。

協会日誌

- 【10月1～15日】
- 1日 ロジ研正副本部長会議▽同本部連絡会
 - 3日 女性部一日研修見学会▽引越専門部会引越基本講習
 - 4日 青年部宿泊研修会
 - 7日 正副会長会▽取扱事業・積合専門部会役員会▽関東運輸局自動車運送事業運転者表彰式
 - 9日 健康管理セミナー
 - 11日 初任運転者特別講習
 - 15日 全国トラック運送事業者大会・懇親会

日程ボード

軽油の価格		1ℓ当たりの軽油価格(東ト協調べ)
☆スター	平均	=135.8円
☆ローリー	平均	=125.8円
☆元売り発行カード	平均	=136.6円
☆ディーラー発行カード	平均	=132.5円

購入価格は、購入に関する諸要因(数量・支払条件・地域ほか)により多少の幅があります(消費税込み)。

燃料給油は東京都内で軽油引取税は地方税です

新会員

- 【天田支部】
- 株式会社MGO 大田区大森北3の1の3
 - アミティSUZUKIビル302号 03・6404・8898▽一般貨物運送(普通車1台、小型車4台)
 - 株式会社ひとまいる ロジステイクス 大田区平和島6の1の1 東京
- 【板橋支部】
- ヤマト運輸株式会社 北東京主管支店 板橋区舟渡4の3の1 03・6386・5420▽一般貨物運送(小型車370台、軽車両等運送(1車14台))
- 【城東支部】
- 株式会社京浜ライン 江東区新砂3の2の9 Xフロンティア7階 03・6666・2335▽一般貨物運送(普通車14台)
- 【深川支部】
- 太陽運輸株式会社 江東区辰巳3の16の20 03・3522・5070▽一般貨物運送(普通車13台、利用運送車13台)

生産性向上へIT活用などを紹介

中小事業者向けDX推進セミナー

東ト協7年

東ト協は11月25日、全日本トラック協会との共催で、令和7年度「中小トラック運送事業者のためのDX推進セミナー」(Web併用)を開催する。

時間は午後1時30分～5時、会場は東ト協総合会館4階会議室。同セミナーは、講演とデモンストラショ

による2部構成。中小トラック運送事業者による情報化推進と、生産性の向上を支援することを

受講対象は会員事業者で、参加費は無料。定員

は、講演とデモンストラショ

による2部構成。中小トラック運送事業者による情報化推進と、生産性の向上を支援することを

受講対象は会員事業者で、参加費は無料。定員

は、講演とデモンストラショ

による2部構成。中小トラック運送事業者による情報化推進と、生産性の向上を支援することを

受講対象は会員事業者で、参加費は無料。定員

は、講演とデモンストラショ

による2部構成。中小トラック運送事業者による情報化推進と、生産性の向上を支援することを

受講対象は会員事業者で、参加費は無料。定員

は、講演とデモンストラショ

による2部構成。中小トラック運送事業者による情報化推進と、生産性の向上を支援することを

受講対象は会員事業者で、参加費は無料。定員

は、講演とデモンストラショ

による2部構成。中小トラック運送事業者による情報化推進と、生産性の向上を支援することを

受講対象は会員事業者で、参加費は無料。定員

は、講演とデモンストラショ

による2部構成。中小トラック運送事業者による情報化推進と、生産性の向上を支援することを

受講対象は会員事業者で、参加費は無料。定員



ZOOM受講 二次元コード



会場受講 二次元コード

六位一体で輸送の維持へ 商習慣の見直しも必要に

東京都トラック協会出版・印刷・製本・取次専門部会(瀧澤賢司部会長)は10月16日、東ト総合会館で、第47回出版物関係輸送懇談会を開催した。

東ト協 出版・印刷・製本・取次専門部会
第47回 出版物関係輸送懇談会



瀧澤部会長は、「長年にわたり、業界の知恵と経験で支えてきた出版物輸送の維持が極めて厳しい状況にある。版元から書店まで、業界全体の問題として深く認識し、解決につなげていくことが部会の役目と考えている」と述べた。続いて、東ト協の井上豪事務局長が「文化の象徴であり、平和のバロメーターとなる出版物、それを支える出版物輸送の未来に向けた輸送について話し合っていたきたい」と述べた。

また、関係団体代表として、日本雑誌協会販売委員会の相賀昌宏顧問が「今できることは何なのかを常に考え、今後も各団体が連携し、出版物輸送を守るために尽力していきたい」とと廣野眞一委員長からのメッセージを伝え、「出版物輸送の最先端の話を聞き、理解を深めることが重要で、意見交換をし、業界全体で力を合わせていきたい」と述べた。

意見交換では、トラック輸送事業者側が、人手不足の状況、地方への幹線輸送の状況、燃料費や車両価格の高騰など、厳しい環境を訴えるとともに、新法への対応による輸送力の減少や適正原価の必要性を指摘した。

一方、荷主側各団体からは、倉庫や工場など拠点の集約化による、さらなる効率化を進め、定価設定の見直しや休配日を増やすなどの対応が必要となる意見が出されたほか、国土交通省による適正原価の告示に向け、業界へのヒアリングの必要性が指摘された。

瀧澤部会長は、「出版物輸送を維持していくために、懇談会に参加して

いる版元から書店まで六位一体となつて、課題に取り組んでいくことが重要になる」とまとめた。

なお、懇談会には、日本雑誌協会・日本出版取引組合・日本書籍出版協会・印刷工業会・東京都製本工業組合・日本書店商業組合連合会の加盟企業などが参加した。

東ト協は10月9日、東ト総合会館で全日本トラック協会との共催により、令和7年度「健康管理セミナー」を開催した。

健康管理とは、企業が従業員の健康づくりを、「コスト」ではなく将来の収益性向上などにつながる「投資」と捉える考え方」と説明。

また、健康経営に積極的に取り組む企業を「見える化」する「健康経営優良法人認定制度」では、認定を受けることで「健康起因事故防止マニ

ユアル」をもとに解説。黒田氏は「厚生労働省の発表では、トラックドライバーは脳・心臓疾患による過労死などの労災認定件数が業種別(中分類)で第1位であり、健康起因事故件数も高止まりしている。現役ドライバーが健康で長く働きたい」と呼びかけた。

続いて、健康経営優良法人認定事務局の健康経営アドバイザーの清水桃子氏が制度の概要や申請手続き方法などについて説明した。

第2・3部では、ヘルスケアネットワーク(OCHIS)保健師の黒田悦子氏が、全ト協発行の「健康起因事故防止マニ

東ト協 三組織が研修会 経営者・管理者能力向上へ

東ト協ロジスティクス研究会(吉本商一部長・青年部(佐藤文平本部長)・女性部(原玲子本部長)の三組織は、寄付活動や交通安全啓発活動などを実施しており、東ト協令和7年度事業計画の「組織研修」では、経営者・管理者としての能力向上を図るため、研修会・セミナーの開催、研究視察・研修見学会などを実施している。

このほか、三組織では合同研修会の開催や今年度通常総会後の懇親会を初めて合同で開催するなど、問題意識の共有やさらなる連携の強化を図っている。

自己紹介・会社概要の説明に続き、人生において大きな転換点となった、自衛隊からトラック運送業への転身、事業拡大に伴う資金調達、業界内外での要職への就任など、これまでの功績について、当時の思いや決断を語った。

また、「人生には三切踏み切る、割り切る、思い切る」が必要で、物流の2024年問題や今後の法改正への対応は、転機ととらえることが重要だ」と述べた。

その後の意見交換では、ロジ研会員と活発に意見を交換。業界では、事業承継をはじめ、今後

多くの会員は意外と聞く機会が少ない。森本副会長に本部がどのような方針で事業を進めているのか、そしてロジ研として何ができるかを検討する場としたい」と述べた。

意見交換に先立ち、森本副会長が「転機とその時」と題して講話。

青年部は10月4・5日の2日間、静岡県熱海市で、初めての試みとなる国内宿泊研修を企画し、20人が参加。研修では、「勝ち残る企業に必要なこと」をテーマに、グループディスカッションを行った。

物流の2024年問題をはじめ、原価の高騰・人手不足・高齢化・AI・法改正など、業界には課題が山積して

ロジ研 本部連絡会 意見交換を行った

ロジ研は10月1日、東ト総合会館で7年度第1回本部連絡会を開催し、森本勝也副会長との

意見交換を行った。開催に当たり、吉本

勝也副会長は「転機とその時」と題して講話。

青年部は10月4・5日の2日間、静岡県熱海市で、初めての試みとなる国内宿泊研修を企画し、20人が参加。研修では、「勝ち残る企業に必要なこと」をテーマに、グループディスカッションを行った。

物流の2024年問題をはじめ、原価の高騰・人手不足・高齢化・AI・法改正など、業界には課題が山積して

女性部は10月3日、1日研修見学会を企画し、15人が参加。研修先となる横浜市磯子区のジャパンマリユニティ造船(JMU)横浜事業所

と、同市の中区の海上保安資料館横浜館の2か所を訪問した。

JMUは、日本の造船会社で、ユニバーサル造船とアイ・エイチ・アイマリユニティが合

併して誕生した。海外からの物流の中心となるコンテナ船やタンカー、フェリーなどの商船や、自衛隊、海上保安庁の護衛艦、掃海艦など艦船の造船だけでなく、海洋・エ



森本副会長と意見交換

造船・海上警備など海をテーマに研修

研修では、事業内容や施設について説明を受けた後、今年3月に海洋研究開発機構(JAMSTEC)の北極域研究船「みらいII」の命名・進水式が行われた工場施設などを見学した。

また、海上保安資料館では、日本国周辺海域の現状や、海上警備の重要性に関する展示として、平成13年に発生した九州南西海域工作船事件の工作船および回収物などの展示を見学。海上保安庁の活躍や、海事故・事件発生時の118番への通報の必要性などを学んだ。

造船・海上警備など海をテーマに研修



造船・海上警備など海をテーマに研修

研修では、事業内容や施設について説明を受けた後、今年3月に海洋研究開発機構(JAMSTEC)の北極域研究船「みらいII」の命名・進水式が行われた工場施設などを見学した。

また、海上保安資料館では、日本国周辺海域の現状や、海上警備の重要性に関する展示として、平成13年に発生した九州南西海域工作船事件の工作船および回収物などの展示を見学。海上保安庁の活躍や、海事故・事件発生時の118番への通報の必要性などを学んだ。

トラック事故速報

死亡事故

問い合わせ先：東京都トラック協会 業務部交通・環境 G ☎03-3359-3618
※事故速報は東ト協ホームページでPDFデータも掲載しています

◎運行中は前方や周囲の状況への注意を怠らないこと。また、高速道路等の単調な道路での走行は漫然運転に陥りやすいことを意識し、常に一定の緊張感を保って運転を行うこと。

日 時	10月7日(火) 8時2分頃発生(曇天)
場 所	調布市(中央自動車道上り)
当事者	①事業用中型貨物車 × ②事業用中型貨物車 他3台 (男性40代死亡) (男性50代)
状 況	
概 要	事業用中型貨物車①が、3車線ある中央自動車道上りを稲城IC方向から高井戸IC方向に第3通行帯を進行中、何らかの理由により事業用中型貨物車②に追突して押し出し、それぞれの車両に追突させたもの。

◎運行中は前方や周囲の状況への注意を怠らないこと。横断歩道や停止線の手前でいつでも停止できる速度に減速、または一時停止を行うとともに指差し呼称等の安全確認を徹底すること。

日 時	10月8日(水) 9時15分頃発生(晴天)
場 所	江戸川区内(都道・篠崎街道)
当事者	①事業用大型貨物車(男性50代) × ②歩行者(女性90代死亡) 歩行者は過失の程度を示すものではありません
状 況	
概 要	事業用大型貨物車が、篠崎街道を江戸川2丁目方向から瑞穂大橋方向に進行し、新今井橋方向に右折する際、横断歩道を右方から左方に横断中の歩行者と接触したもの。

◎道路標識・道路標示及び規制に従うこと。また、事故を起こしてしまった際は、被害者の救護、周辺交通の安全確保等に努めること。

日 時	10月10日(金) 6時29分頃発生(晴天)
場 所	八王子市内(市道)
当事者	①自動二輪車(男性50代死亡) × ②事業用大型貨物車(男性50代) 歩行者は過失の程度を示すものではありません
状 況	
概 要	事業用大型貨物車が、市道で谷野町南交差点方向からひよどり山トンネル北交差点方向に向けて駐車中、後方から進行してきた自動二輪車が追突したもの。

関東運輸局は10月7日、横浜市の神奈川県立青少年センターで、令和7年「自動車運送事業運転者表彰式」を開催した。長年にわたり、安全運転と輸送サービスの向上に貢献した運転者をたたえるもので、今年は同局管内1都7県のトラック部門111人、バス部門202人、ハイヤー・タクシー部門35人(うち法人19人)の合計348人が受賞し、東京都トラック協会関係では32人が受賞した。

このうちトラック部門 今日まで利用者に信頼され、社会生活の向上と我が国の経済発展に大きく貢献してきたことは、受賞者の努力や卓越した技量の賜物である」と、受賞者の長年の努力を称賛した上で、「生産年齢人口が減少していく中、自動車運送事業に従事するドライバーの人手不足は業界全体で深刻な状況であり、物流の2024年問題が社会的課題となっている。関東局として、自治体と事業者との橋渡しをするなど伴走支援を行っていく。そのほか、

式典には来賓として、関東トラック協会の水野功会長(東ト協会長)らが出席。水野会長は受賞者の功績をたたえ、「物流の大きな変革が迫られている今こそ、それぞれの立場で担うべき役割を再考し、物流が直面している諸課題の解決に向けた取り組みを進め、持続可能な物流の実現につなげることが必要不可欠だ。そのためにも、受賞者の皆様がこれまで培ってこられた豊富な経験と実績が何より重要である」とし、さらに「今後とも無事故・無違反を継続し、他の模範としてさらに一層の活躍と精進を願う」と祝辞を述べた。

山銳治(同)▽林光一(同) 次(同)▽敬称略、カッコ内は会社名・支部名。松本克明(TAKAI DOCKフルロー・杉並)▽立花誠(同)▽川戸勝利丸三容器・杉並▽高橋信之(アドバンス芙蓉・板橋)▽小林哲也(同)▽松本真二(同)▽藤井慶(同)▽矢嶋真也(トールJ.D.・板橋)▽矢野健一(徳丸商運・板橋)▽菊池篤(茂呂運送・練馬)▽佐藤功(同)▽佐藤秋夫(同)▽辻岡信一(同)▽定方秀夫(定方運送・北)▽中村健司(田口運送・北)▽薄井国夫(東京福山通運・北)▽平野高志(福山通運・深川)▽滝沢淳(古川商事運輸・多摩)▽守重寿彦(千代田運輸・多摩)▽梅澤智仁(多摩運送・多摩)▽久保栄(同)▽荒井智之(同)▽高木慎治(同)▽中村和夫(同)▽平原和昭(同)▽岡江辰也(東京ユニオン物流・多摩)▽諸井慶二(同)▽川崎裕治(同)▽竹中隆正(同)▽島田新次(同)▽白



関運局 自動車運転者表彰

を代表して、丸三容器(杉並支部)の川戸勝利氏が壇上、藤田礼子局長から表彰状が授与された。

式典には来賓として、関東トラック協会の水野功会長(東ト協会長)らが出席。水野会長は受賞者の功績をたたえ、「物流の大きな変革が迫られている今こそ、それぞれの立場で担うべき役割を再考し、物流が直面している諸課題の解決に向けた取り組みを進め、持続可能な物流の実現につなげることが必要不可欠だ。そのためにも、受賞者の皆様がこれまで培ってこられた豊富な経験と実績が何より重要である」とし、さらに「今後とも無事故・無違反を継続し、他の模範としてさらに一層の活躍と精進を願う」と祝辞を述べた。

東ト協関係の受賞者は次の通り(敬称略、カッコ内は会社名・支部名)。松本克明(TAKAI DOCKフルロー・杉並)▽立花誠(同)▽川戸勝利丸三容器・杉並▽高橋信之(アドバンス芙蓉・板橋)▽小林哲也(同)▽松本真二(同)▽藤井慶(同)▽矢嶋真也(トールJ.D.・板橋)▽矢野健一(徳丸商運・板橋)▽菊池篤(茂呂運送・練馬)▽佐藤功(同)▽佐藤秋夫(同)▽辻岡信一(同)▽定方秀夫(定方運送・北)▽中村健司(田口運送・北)▽薄井国夫(東京福山通運・北)▽平野高志(福山通運・深川)▽滝沢淳(古川商事運輸・多摩)▽守重寿彦(千代田運輸・多摩)▽梅澤智仁(多摩運送・多摩)▽久保栄(同)▽荒井智之(同)▽高木慎治(同)▽中村和夫(同)▽平原和昭(同)▽岡江辰也(東京ユニオン物流・多摩)▽諸井慶二(同)▽川崎裕治(同)▽竹中隆正(同)▽島田新次(同)▽白

違反別 営業用トラック関与の交通事故

令和7年9月末
年間累計

		安全 不確認	前方 不注意	交差点 安全進行	歩行者 妨害	一時 不停止	ハンド ブレーキ	信号 無視	徐行 違反	右左折	その他	計	
発生件数	大型	1当件数	76	30	23	3	0	11	1	0	0	36	180
		関与事故件数	79	23	25	3	0	5	1	0	0	93	229
		(前年比)	+7	-8	+1	-2	±0	-11	-1	±0	±0	+19	+5
	中型	1当件数	58	31	26	7	0	12	6	0	0	19	159
		関与事故件数	55	29	29	7	0	11	6	0	0	55	192
		(前年比)	+9	+3	+9	+2	±0	+3	+3	-1	-1	-10	+17
	準中型	1当件数	94	73	37	5	3	12	4	0	0	62	290
		関与事故件数	98	67	49	5	3	11	4	0	0	150	387
		(前年比)	-7	+8	-4	-3	-2	-1	-6	±0	-1	+15	-1
	普通・軽	1当件数	287	137	160	25	18	45	21	5	2	117	817
		関与事故件数	311	128	195	25	18	45	22	4	2	334	1,084
		(前年比)	-42	-15	+25	-5	-1	+12	+5	-4	+2	-51	-74
合計	1当件数	515	271	246	40	21	80	32	5	2	234	1,446	
	関与事故件数	543	247	298	40	21	72	33	4	2	632	1,892	
	(前年比)	-33	-12	+31	-8	-3	+3	+1	-5	±0	-27	-53	
死者数	大型貨物車(1当)	3	1	0	0	0	0	0	0	0	1	5	
	中型貨物車(1当)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	準中型貨物車(1当)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	
	普通・軽貨物車(1当)	0	1	2	0	0	1	1	0	0	2	7	

注：営業用貨物車の関与事故件数とは、第1または第2当事者のどちらか一方が営業用貨物車であった事故の件数をいう。ただし、第1および第2当事者がともに営業用貨物車であった事故は件数を1件とする。
※表中の(前年比)は、関与事故件数のもの。



令和7年9月 53件減少したが、死者14人
末現在の都内全 人で前年と同数となった。
域の交通事故発生件数(本 事故類型別では、右左折
年累計)は、22,206件で、 時の車両相互事故が240
前年同期比232件増加した 件で前年同期比16件増加
が、死者99人で前年同期比 し、死者数は0人だった。
4件減少となった。 違反別では、安全不確認
営業用貨物車の関与事故 による関与事故件数が543
(「違反別」表の下段「注」 件で、前年同期比33件減少
参照)発生件数(本年累計) となっている。
は、1,892件で前年同期比

関交協
オリジナル
冊子

漫然運転を防止するための
睡眠対策マニュアル

「ドライバーの眠りとその問題」

関交協では運送事業者の皆様とともに、交通事故削減を最重要課題と位置づけ、様々な事故防止事業に取り組んでおります。

背 景 (国交省)

- ・多重追突事故の原因が指導不足と公表
- ・睡眠時無呼吸症候群(SAS)マニュアルの改訂
- ・スクリーニング検査実施の有無の報告義務

対 策

- ・医学博士 高橋正也氏監修
『漫然運転を防止するための睡眠対策マニュアル「ドライバーの眠りとその問題」』作成

活 用 方 法

- ・事業者の安全教育に活用
- ・ドライバー指導教材として利用
- ・漫然運転防止 → 事故削減

ご希望の方は、関交協・安全推進部まで

TEL : 03-5337-1754

MAIL : ansui@kankokyo.or.jp



QRコードから
すぐにお問い合わせ



関東交通共済協同組合



適正化二法へ総力を結集



暫定税率の廃止、交付金の維持などを決議

全日本トラック協会(寺岡洋一会長)は10月15日、新潟市内の朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターで第30回全国トラック運送事業者大会を開催し、「トラック適正化二法が実効性をもって機能するため業界の叡智と総力の結集」を掲げ、運輸事業振興助成交付金制度の維持、「軽油価格カルテルの徹底的な説明」など、12項目の大会決議(別掲参照)を行った。

全体会議では、主催者側から、業界の今後の発展のため、各分野でリーダーとして活躍してほしい」と受賞者の栄誉をたたえた。

東ト協関係の受賞者は次の通り(敬称略、カッコ内は会社名・支部名)。

〔功労者〕
高取良雄(東新トレーラーエクスプレス・港)▽片倉義智(DRIVENET・大

国土交通省は10月23日、千代田区の国交省10階共用大会議室で、令和7年「自動車関係功労者大臣表彰式」を開催し、各分野で功績のあった事業者・運転者など合わせて256人・1団体を表彰した。

貨物運送関係受賞者は90人で、このうち東京

自動車関係 功労者大臣表彰

都トラック協会関係では目黒支部長の土屋秀明氏をはじめ



東ト協関係15人が受賞

係分野の発展のため、各分野でリーダーとして活躍してほしい」と受賞者の栄誉をたたえた。

東ト協関係の受賞者は次の通り(敬称略、カッコ内は会社名・支部名)。

〔功労者〕
高取良雄(東新トレーラーエクスプレス・港)▽片倉義智(DRIVENET・大

【大会決議】

- トラック適正化二法が実効性をもって機能するため業界の叡智と総力を結集しよう
- 軽油引取税の暫定税率の廃止を実現しよう
- 運輸事業振興助成交付金制度を維持しよう
- 軽油価格カルテルを徹底的に説明させよう
- 商慣行の見直しならびに長時間労働の是正と取引環境の改善を図ろう
- 交通事故、飲酒運転および労災事故を根絶しよう
- 適正化事業の推進による法令遵守の徹底を図ろう
- トラック・物流GメンとGメン調査員の連携による荷主対策の深度化を図ろう
- 高速道路料金の割引の拡充および重要物流道路等広域道路ネットワークの整備、駐車スペースや休憩施設の整備・拡充を実現しよう
- 良質なドライバーの人材確保に向けて賃上げを実現しよう
- カスハラ等の撲滅などによりドライバーの社会的評価の向上を図ろう
- 新技術を活用した物流DXおよび効率化を推進しよう

厚労省 11月は過労死等防止啓発月間



厚生労働省は、毎年11月を「過労死等防止啓発月間」とし、「過労死等防止対策推進シンポジウム」や「過重労働解消キャンペーン」を実施するとともに、啓発ポスター(写真)の掲示など多様な媒体を活用し、国民に向けて周知・啓発を図る。

シンポジウムでは、過労死遺族の方の体験談やメンタルヘルスの専門家などによる講演を行い、過労死等の現状や課題、防止対策について考える。全国47都道府県48会場で実施が予定され、都内では11月5日に東京中央会場(千代田区

過重労働の解消に向けて

／イイノホール、同26日に東京会場(豊島区/TKP池袋カンファレンスセンター)でそれぞれ開催する。参加費は無料。

また、「過重労働解消キャンペーン」として、使用者団体や労働組合に対して厚労大臣名で協力要請を行うほか、都道府県労働局長が、地域において長時間労働削減に向けて積極的に取り組んでいる企業へ職場訪問などを行い、長時間労働削減に向けた取り組み事例を収集し、広く紹介する。

また、長時間労働の是正や賃金不払い残業などの解消に向けた重点的な監督指導を実施したり、全国一斉の無料電話相談「過重労働解消相談ダイヤル」(0120-794-713)を開催する。

向 ファイル

◇9月分◇

●東京都トラック協会、東京都議会の自由民主党・公明党・都民ファーストの会に対して、それぞれ令和8年度「東京都への特別要望」を提出する(2日)

●関東トラック協会、栃木県宇都宮市のライトキューブ宇都宮で、令和7年度・第68回事業者大会を開催し、関東1都7県トラック協会から約400人が参加する(12日)

●東ト協、渋谷区・代々木公園で「トラックフェスタ TOKYO 2025」親子で体験「安全と環境」を開催する。気温30℃を超える中、親子連れをはじめ昨午を超え約1万4000人が来場する(14日)

●関東運輸局、「関東地域事業用自動車安全施策2025」を策定する(16日)

●東ト協、中央自動車道石川PA(上り線)で、警視庁高速道路交通警察隊による秋の全国交通安全運動に伴う合同街頭活動に参加する(22日)

●東ト協環境委員会、令和7年度第1回委員会を開催し、環境の保全に関する事業の環境改善促進事業、グリーン・エコプロジェクト事業の進捗状況を報告する(22日)

●東ト協各支部、秋の全国交通安全運動期間中の9月24日を街頭指導活動「統一実施日」として、19支部が歩調を合わせて交通安全や事故防止を呼びかける(24日)

●全日本トラック協会女性部会、新宿区の京王プラザホテルで令和7年度「全国研修会」を開催し、女性のパワー・物流の未来へ」を開催。全国33の女性組織メンバーが多数参加する(26日)

●東ト協経営教育委員会、令和7年度第1回委員会を開催し、経営改善対策、人材養成の各事業の進め方、今年度の輸送相談・苦情処理への取り組み状況などを審議する(29日)

●国土交通省、大型車の車輪脱落事故防止に係る「令和7年度緊急対策」の実施について、全ト協など自動車関係団体に通知し、防止対策に積極的に取り組むよう求める(30日)



東京・青梅市で、地域に伝わる妖怪や伝説をテーマにした体験型イベントが11月30日まで開催されている。昔話や民話が数多く残る青梅の街を舞台に、妖怪や伝説のゆかりの地を探し歩きながら楽しむ参加型企画。JR青梅線の河辺駅〜御嶽駅までの広いエリアに、雪女や待ち伏せオオカミ、デスマル、デイダラボッチなど、青梅ゆかりの妖怪たちが30か所のスポットで参加者を出迎える。

青梅を舞台にした伝説の1つが、小泉八雲(ラファディオ・ハーン)の『雪女』である。八雲は明治期の文学者で、著作は英語で書かれ、欧米における日本理解に大きく寄与した。現在、放送中のNHK連続テレビ小説『ばけげん』は、八雲の妻セツをモデルにした、怪談を愛した夫婦の物語だ。

「雪女」の物語は、青梅市の調布橋近くの渡し場から始まる。年老いた木こりの茂作と若者の巳之吉が吹雪に遭い、渡し場の番小屋に避難した夜のこと、全身白装束の女が現れる。息を吹きかけられた茂作は凍死するが、巳之吉には「お前はまだまだ若くて可愛いから、今回は助けあげ、今夜の出来事は絶対に他言しないように釘を刺す。だが、

妖怪に会いたいなら青梅へ



「妖怪・伝説」イベントは11月30日まで。問い合わせ先は青梅市シティプロモーション課(☎0428-22-1111)。

伝承とはなんだろう

究の結果、最終的に青梅説が定着したとされる。

また、青梅市の「昭和レトロ商品博物館」には、作品をテーマにした「雪女の部屋」が設けられ、雪女の姿や物語の場面を再現した人形、「雪女」に関する記事や写真などが展示されている。館内には「雪おんな縁の地」と書かれた色紙も掲示され、幻想的な世界を伝えている。

舞台が青梅と判明したこと、で、「雪女」は日本を舞台とした八雲の創作作品として位置づけられたが、「では伝承文学とは何か?」という問題が残った。

特に民話では、口承(言い伝え)による伝達を想起させるが、文章で語り継がれていく時、それも伝承になるのだろうか。

「雪女」がどのようにして日本の民話として受け入れられてきたのか、その答えの手がかりは、もしかすると青梅の街に潜んでいるのかもしれない。そう思い、妖怪マップを片手に、青梅の妖怪たちの足跡をたどってみることにしよう。

雪女伝説の舞台を歩く



昭和レトロ商品博物館の「雪女の部屋」の雪女像(絵)



雪女に関する記事等と物語の展開を紹介する人形

布「を特産としたことにちなみ、同由来を持つ「調布市」とも通じる。

八雲の怪談は、有名な『耳なし芳一』のように原典を持つ再話作品が多い。講談社学術文庫『怪談・奇談』には、原拠が明確な作品が紹介されており、他にも伝承や説話を聞いて作品化したもの、日本を舞台に創作したものもある。

その中で「雪女」は原拠が不明だが、英語版の序文に「武蔵国西多摩郡調布村の農民の言い伝え」という記述があることから場所の特定が行われ、現在の青梅市であることが分かった。

地名の「調布」は、律令制度の税である「租米穀」・庸(労役)・

都会で楽しむ海の世界

江戸川区にある葛西臨海水族園は、東京湾の海辺に立つガラスドームが印象的な都立の水族館です。館内では、クロマグロが群れをなして泳ぐドーナツ型の大水槽をはじめ、太平洋、インド洋、大西洋、深海、さらには北極海や南極海の海をテーマごとに紹介しています。迫力あるクロマグロ



の群泳や、美しいサングの展示など、まるで自然の海に潜り込んだかのような臨場感が魅力です。屋外には国内最大級のペンギンの展示施設があり、潮

を観察することができます。また、東京湾や日本近海の魚も多く展示されており、普段食卓に並べられないような馴染み深い魚を目にすることもできます。

現在、リニューアル工事が進められており、隣接地に新たな水族園が建設中です。2028年9月にオープン予定で、入口のガラスドームはそのまま保存される計画のようです。

葛西臨海水族園
住所：江戸川区臨海町6-2-3 (JR京葉線葛西臨海公園駅下車徒歩5分)
開園時間：9:30～17:00 (入園は16:00まで)
休園日：水曜日(祝日・都民の日・振替休日の場合はその翌日)、年末年始
入場料：一般700円、小学生以下、都内在住・在学の中学生は無料
無料開園日：みどりの日(5/4)、都民の日(10/1)、開園記念日(10/10)

ポケット

蔵は土蔵造りで、中の温度は夏でも最高で25℃くらいに保たれ、冬も5℃を下回らず、急激な温度変化に弱い日本酒を良好な状態で保存できるとのこと。

敷地内では、酒造りに使う井戸も見ることができま

もう一つは、拜島駅から歩いて20分ほどの石川酒造。ここでは、日本酒「多

道を挟んだ場所にある「清流ガーデン 澤乃井園」で利き酒の続きを楽しみながら、多摩川を眺めつつのんびり過ごすのがおすすめです。

皆さんも、新酒の香りが漂う秋に、酒蔵散歩に出かけてみてはいかがでしょうか。

今回は多摩川沿いの酒蔵めぐりをしました。

まずは、青梅市の山間にある小澤酒造。日本酒「澤乃井」の醸造元として知られ、ここの酒蔵見学は人気があります(要予約)。

小澤酒造は、1702(元禄15)年には酒造りをしてきた記録があり、当時建てられた蔵が現在も貯蔵庫として使われています。

雨水が岩盤を縫って湧き出す澄んだ水は、ミネラルを多く含む中硬水だそうです。見学後はお待ちかねの利き酒で、秋限定の「ひやおろし」というお酒が格別でした。

蔵を開きの直前で、残念ながら今年の新酒には出会えませんでした。が、まもなく酒蔵には青々とした杉玉が飾られ、新酒の季節の訪れを知らせてくれるでしょう。

皆さんも、新酒の香りが漂う秋に、酒蔵散歩に出かけてみてはいかがでしょうか。



新酒の秋がやってくる 多摩川沿いの酒蔵散歩



満自慢」などを醸造しています。敷地内には、明治期に酒造りに用いた建築材の国登録有形文化財の土蔵や樹齢700年のケヤキの御神木もあり、神社仏閣を感じさせるような、静かなたたずまいです。ここでも利き酒が楽しめます。

また、敷地内では地ビールも醸造しており、隣接するイタリアンレストランで味わうことができます。オープンテラスでグラスを傾けながら過ごす時間は、何とも贅沢です。今回、取材日がちょうど蔵開きの直前で、残念ながら今年の新酒には出会えませんでした。が、まもなく酒蔵には青々とした杉玉が飾られ、新酒の季節の訪れを知らせてくれるでしょう。

「2024年問題」として近年、トラックの輸送能力不足が心配

輸送需要の動向が気になり、状況になりつつある◆NX総合研究所の貨物輸送見通し(改訂)によれば、今年の国内貨物総輸送量はとうとう40億トンを割り込むと予測。このうち営業用トラックの輸送量は前年比1・3%減少し、4年連続のマイナスとなる見込み◆芳しくないデータがもう1つ。スポット輸送のマッチングを行うWeb KITTでは、荷物情報(求車)件数が9月も前年同月を下回り、6か月連続の減少。成約運賃指数は4年3か月ぶりに前年同月を下回った◆こうした需要減退の兆候は、運賃の上昇傾向に水を差しかねない。しかし、ここで運賃改善へのアプローチを緩めるべきではないだろう。以前より上がったとはいえ、とても満足のいく水準とは思えないからだ◆運転者の高齢化問題もあり、近い将来、深刻な人手不足状態に陥るおそれがある。そうした事態を回避するために、は待遇改善が急がれて、これまで以上に強い姿勢で運賃交渉を進めていくべきだろう。